

誰かが見ている、書いている（ブログ・掲示板）

俺の名前はカズ。サッカーが大好きで、小学校の頃には地元クラブチームの「キッズサッカー教室」に毎週通った。S中学でも迷わず選んだのはサッカー部。ドリブルのうまさをコーチにほめられ、フォワードのポジションになった。体はまだ大きくないから力で押されると弱いけど、フットワークでは負けない。敵のディフェンスを足でかわしてみせる。でも、本当にやりたいのはミッドフィールダー。真ん中の位置から敵の動きを見て右左にボールを出してミドルシュートでゴールをかつこよく決めたい。三年生になったら十番のエースナンバーをつけてプレーしたいな。

S中学校のサッカー部は地区でも結構強い。去年の地区大会では優勝して、県大会に出場している。県大会ではディフェンスのミスで入れられた一点をなんとか返そうと俺はフォワードでがんばったんだけど、逆転できなかつた。あのときは本当に悔しくて涙が止まらなかつた。県大会の試合の後のコーチの言葉が今でも心に残っている。

「負けには理由がある。それを見つけ出せ。」

このときから、俺は試合の記録を書き始めたんだ。チームみんなで見ることができるよう、ネットのブログを開いた。練習や試合があった夜にブログに記事を載せると、チームのみんなが掲示板に意見を書いてくれる。

左サイドからの攻撃が一回もなかつたよ

ディフェンスが敵に抜かれたときは1点入れられたかと思つたよ。ナイスキャッチ！
キーパー！

試合が勝ったときも負けたときも、チームみんなの書き込みでブログは盛り上がっていた。

次の週のA中学校との練習試合は今までにないくらいポロポロの試合だった。速攻でディフェンスを

かわされて連続得点されるし、俺のシュートは相手キーパー止められてしまっただけでゴールに入らない。試合の前半だけで五点差をつけられてしまった。

「確実に一点取りに行こう！」

三年生のキャプテンのヒデさんのかけ声で後半戦が始まった。チーム全員がまとまっていけないからパスが通らず、すぐに相手チームにボールを取られてしまう。それでもヒデさんががんばってボールをキープした。ヒデさんからのボールをもらって、俺はゴールを目指した。でも、三人のディフェンスに囲まれて前に進めない。

後ろから、ヒデさんの叫ぶ声が聞こえた。

「カズ、パス出せ！」

その声を振り切るように、俺は、相手ゴールに向かってシュートを蹴った。

「入ってくれ、一点！」

思いもむなしく、ボールはゴールの上を飛んでいった。

結局、大差で負けてしまった。

試合後のミーティングでキャプテンのヒデさんが話した。

「チームで戦っているんだ！仲間が十一人いるんだ。声かけてパスを出そう！」

俺だってそんなことはわかっている。でも、一点取りに行きたいと思うと、周りの仲間を見る余裕もなく、敵ゴールをまっしぐらに目指してしまう。

その夜、ブログの掲示板に書き込みが・・・

誰にもパスしないでゴール狙っても点とれるわけないよ

超簡単なシュート外していたぜ。フォワード ガンバ

この書き込みは明らかに今日の試合を見ていた人だとわかった。ブログに学校名や名前を出していないのはなぜ？このブログを開いていることを知っているのはサッカー部以外ではほんの数人しかいない。次の日キャプテンのヒデさんが声をかけてくれた。

「ブログ大変なことになっているな。」

「・・・。」

「いたずらだよ。カズ、気にするな、元気だせよ。」

その夜も、嫌な書き込みは続いた。

あのフワードじゃあチームプレーにならねーな。

中総体、予選落ちだね。

また、今日もシュートミスしているよ。

誰かが俺のことを見て書いている。

それ以来、部活で練習していても、サッカーが楽しくないと感じた。

「誰かが見ている、ミスできない。」

と思うと体が思うように動かない。以前のようなプレーはできなくなってしまった。突然コーチが叫んだ。

「カズ、交代！」

紅白戦の練習メンバーからも外されてしまい、俺は重い足どりでコートから出た。

「元気だせよ、カズ」

練習後にキャプテンのヒデさんから話しかけられた。

「ヒデさん、俺、サッカーしてても楽しくない。」

「カズ、おまえ、何のためにサッカーしているんだ」

「わかんない。ヒデさんは？」

小声で聞いた。

「俺は、自分と、みんなのためだ。」

一人じゃサッカーはできない。みんながいるからサッカーができる。」

帰り道、ヒデさんの言葉を思い出しながら歩いていった。俺はボールしか見ていなかった。みんなを見ていなかった。ゴールに進むことだけを考えていた。でも、ヒデさんは違う。チームみんなを見ていたんだ。俺はまだまだキャプテンにはなれないな。

その夜も、書き込みがさらに続いた。

フォワード戦力外通告！

そりゃあ、一人でサッカーしようとする選手は戦力外だよ。よし、俺もヒデさんみたいに、自分とみんなのためにがんばってみよう。

次の日の放課後の練習から、俺はみんなの動きを見てパスを出した。紅白戦でもドリブルで無理に突破しない。いつもより声を出して練習した。

フォワード復活できるか？

その夜、やっぱり書き込みがあった。

でも、俺はもう気にならなくなっていた。